2024年度改善指示

指示番号	指示項目	指示内容	改善期日	報告期日
1	教育理念に基づいた明治学院共通科目と各学位プログラムの教育課程の編成・実施方針との整合性の検討	明治学院共通科目をどのように編成し、各学部・学科のカリキュラムの中にどう位置づけるかを大学全体で議論し、その実現に向けて検討すること。	（改善期日） 2026年3月末	（報告期日） 2026年4月末
2	収容定員未充足に対する取り組み（大学院の活性化に向けた取り組み）	2027年度大学院入試に向けて、定員未充足について改善策を各研究科・専攻単位で検討し、2025年度中に出てきた具体策を大学院委員会で報告し、課題を大学院全体で共有する。また、定員充足につながるような、特に社会人や留学生、内部進学者が入学しやすい、魅力あるカリキュラムの構築について検討すること。 （認証評価での改善課題／2026年7月までに大学基準協会へ改善報告）	（改善期日） 2026年3月末	（報告期日） 2026年4月末
3	教育課程の編成および実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の修正	2026年度7月末の大学基準協会への改善報告書提出時には、【大学評価提言（改善課題）】として指摘された内容の修正を終えている必要があることから、2025年度末までの修正が必要である。学部においては、2024年度中にカリキュラムツリーの策定を通じて教育課程の編成および実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の見直しを行い、その結果に基づいた修正を行う。 （認証評価での改善課題／2026年7月までに大学基準協会へ改善報告）	（改善期日） 2026年3月末	（報告期日） 2026年4月末
4	入学前教育の全学実施	芸術学科において入学前教育の導入を検討し、2025年度もしくは2026年度からの全学での実施を目指すこと。	（改善期日） 2026 年3月末	（報告期日） 2026年4月末
5	全学的なアセスメント・ポリシーの策定	より実質的な教育の質保証に繋げるため、全学的なアセスメント・ポリシーを策定する。策定後はこれに基づき、学科ごとに学習成果を測定し多角的に分析・評価をおこない、学生や教員へデータを共有することで、教育課程およびその内容、教育方法の改善・向上に取り組む。	（改善期日） 2026年3月末	（報告期日） 2026年4月末
6	TAへの研修実施の検討	「ティーチング・アシスタント規程」に定めた役割を踏まえ、TAへの研修実施を検討すること。	（改善期日） 2026年3月末	（報告期日） 2026年4月末
7	学生への情報提供における全学的支援体制の検討	本学の長所である、学生への情報提供における支援体制をさらに伸ばす施策として、窓口やデジタルプラットフォームでのワンストップサービスなど、学修者本位の視点に立ちより使いやすい情報提供となるよう、組織を横断した全学的な支援体制を検討すること。	（改善期日） 2026年3月末	（報告期日） 2026年4月末
8	白金・横浜両校舎で研究支援を行う環境の整備の検討	情報数理学部が設置されたこともあり、理系分野を含めた研究を支える制度や環境、基盤の充実が求められているため、白金・横浜両校舎で研究支援を行う環境の整備について検討すること。	（改善期日） 2026年3月末	（報告期日） 2026年4月末